

大学体育養生学研究会

第13号

ようせい  
YOSEI = Life Awakening Arts

事務局：東京女子大学文理学部・横沢研究室内  
FAX・03-3396-9996（問い合わせ受付）

- ▷卷頭言
- ▷第2回常任理事会報告
- ▷中国研修会運営委員会の提案
- ▷図書刊行計画快調
- ▷海外研修会開催要項

本会のモットーは「共生原理」

仲間としてともに弾んでみよう  
— 楽しく明るい生活の創造を求めて —

大学体育養生学研究会

顧問 片 倉 道 夫

昨年11月23日の勤労感謝の日に、姫大阪府レクリエーション協会は、あるイベントに参加しました。

新世紀の幕開けにふさわしい統一テーマのもと  
「人体科学フォーラム 2001 in 吹田」の開催  
がいよいよ目前に迫ってきました。

イベントの大会号に「仲間としてともに弾んでみよう」と題して、上記のように私は書き出しております。私はいつも共催の会にはそう呼びかけます。

ひとつずつ、少しずつ、そして大胆に企画が練り上げられていくにつれ、私どもの協会が、ご協力できそうな輪郭が見えてきて、このたび、総力をあげて「遊びのお祭り広場」を公開させていただくことになりました。

と、続けて私は書きました。会場は広大な秋の風情を満喫できる関西大学の千里山キャンパスでした。天気晴朗でした。2日間にわたって開催された同大会には「延べ六千人」を上回る大勢の「あなた・わたし・みなさん」が集まってきたそうです。大成功でした。我が協会もその責めの一端を果たせたことを大いに喜んでいます。たしか同大会には大学体育養生学研究会も共催参加されていましたが、一緒に活動できたことも大きな喜びでした。

姫大阪府レクリエーション協会は創立54年を迎えています。当方の近年のレクリエーション運動を紹介させていただきますと、府民からの「老いも若きも生涯を通じてお互いに健康で心さわやかな人生をおくろう」という願いに応えて、レクリエーションのリーダーを養成し、種目を開発し、交流の場を整え、「あなた・わたし・みなさん」の生活レクリエーションの場の創造という基本姿勢で、人生の真の楽しみ方を提供するために努力しています。

思い起こせば大学体育養生学研究会とは深いご縁があります。2000年7月21日、大阪府労働センター「エル・おおさか」で「公開シンポジウム＆日中共同健康フォーラム」を共催させていただきました。中国から第一人者である上海体育学院の邱丕相先生

プロフィール

1926年生まれ。1950年関西大学経済学部卒。NHK大阪放送局にディレクターとして入局。東京五輪製作番組のチーフディレクターとして活躍。姫余暇開発センターのプロジェクトチームに参加。現在、姫大阪府レクリエーション協会専務理事・関西大学非常勤講師。著書に『トリムのすすめ』ほか。

をお招きして、メインテーマ「21世紀の健康ライフを求めて：中国最古の健身術と現代生活を考える」のもとに多彩なプログラムを公開で展開して有意義な「会」を経験させていただきました。同企画は「ねんりんピック2000大阪」の協賛事業として開催しました。お蔭様で、当協会は、ここでも存在理由を社会に示すことができました。

大阪府レクリエーション協会の願いは、いまも、むかしも、「楽しく明るい生活の創造」をモットーにしております。そのためには、大学体育養生学研究会のような学術研究団体とも積極的にタイアップして、本会の機能をフル回転で役立たさせていただきたいと考えています。そのころは「ちびっ子・若いご夫婦・学生さん・シニアのみなさんともども、仲間として弾んでみたい」と考えるからです。私どもは、貴会の基本理念に、また貴会のモットー「共生原理」の旗印のもとに企画されるいかなるイベントにも、満腔の賛意を示すものです。また一緒に活動のできる日を楽しみにしております。

(完)

## 2002年度第2回常任理事会

第2回理事会は「書面会議」として開催しました。

### [報告事項]

- (1) 5月15日(水)～18日(土)の間、上海体育学院の俞継英学長ご一行3名が東京に滞在されました。今回は仙台大学との交流問題で来日された機会に大学体育養生学研究会への表敬訪問となりました。5月16日午後7時から総勢16名で「歓迎会」を開催し話題交換を行いました。俞学長からは「ますます日中の研究会の交流を発展させたい」との意向が伝えられました。
- (2) ニューズレター「13号」準備中。
- (3) 2002年度「中国研修会」開催案の提示。担当委員は久保・張常任理事です。
- (4) 図書刊行計画は「2003年2月28日発行」に向けて準備が進められています。
- (5) 第1回常任理事会で提案された会計理事とし

て、池田裕恵氏（東洋英和女学院大学）の就任承諾をいただきました。

### [審議事項]

- (1) 2002年度第9回中国養生法研修会「国際よせいフォーラム2002」開催案について ⇒ 開催要項のとおり可決。
- (2) 全国大学体育連合へ「2002年度研修会支援補助金」の申請手続きについて ⇒ 原案を了承可決。

## 中国研修会運営委員会の提案

第9回「中国養生法研修会」の開催計画にあたり、前回までの経験を活かして、改善すべき点を企画担当者：久保隆彦先生（明治学院大学）を中心にして検討してきた結果、「中国研修運営委員会」を発足することになり、下記のとおりの原案提示を行いました。

### [運営委員会]

- 委員長 久保 隆彦（明治学院大学）  
副委員長 張 勇（長野県短期大学）  
谷 祝子（神戸女学院大学）  
横沢喜久子（東京女子大学）

### ▷ 研修会の趣旨の再確認

これまでの趣旨を変えることなく、中国の研究者と日本の研究者の学術・文化交流を図る。

- ① 今回の企画でも初めて参加される方々をも対象とする。
- ② これまで研修を経験された参加者にも新たな発見をみつけることのできる魅力あるプログラムを企画する。21世紀の新しい大学体育の糧となるような斬新な計画をたてる。

### ▷ 研修会開催に関して

日程、研修プログラム、宿泊所、旅行社、経費等について、すべて改めて検討しました。

- ① 昨年度「4泊5日」は短いとの反省がありましたので、今回は「5泊6日」に決定。
- ② 研修プログラムは主として「初心者」を対象

として組む。しかし、「経験者」対象として、現在中国の体育統一教材として採用されて注目されている「新編五禽戯」を取り上げることになりました。経験者組で参加をご希望され方はご期待下さい。

#### ▷ 宿泊・研修会場

種々検討の結果、従来どおり、「上海体育学院」にすべてお願いすることになりました。

- ① 経費面から検討して、「20万円」以下に抑え最適な方法が見つからない。
- ② ホテル利用の場合、企画プログラムに見合う至便な研修会場の設営等が困難。
- ③ 他施設等を利用すれば、これまでの上海体育学院との交流・結びつき等が希薄になる危惧が生じる。

#### ▷ 特別プログラム

今回、上海での中国養生法研修会終了後、希望者のために、チベット訪問計画を検討中です。チベットには優秀な伝統文化が受け継がれています。そのひとつに、中国・アラビア医学とならぶ、数千年の歴史をもつ「チベット医学」があります。チベット医学は、長く生きるために技術ではなく、よく生きるために智恵もあり、人間が生まれ、老い、病み、死ぬという人生における「生」の問題だけでなく「死」の問題も含めて、大きなライフサイクル全体を考えていると言われています。チベットの風土のなかでの学術交流は多くのものを得ることができるのでないかと期待されます。

### 図書刊行計画・準備状況

#### [企画基本方針]

- ① 「生を養う：養生（ようせい）」を求める  
からだへの見方を広げ、身体運動の生活的復権を求め、そこへ伝統的養生思想・身体技法を今日に生かし、取り入れていくことにより現代の「養生」を提案する。
- ② テーマの元にエッセイ風にドラマを創り出し、学問的、理論的内容を楽しく読者に読んでいただく。絵や写真あるいはコラムなども入れ

ることができればと考えている。論文調、専門用語はできるだけ避け、やさしい言葉で書きたい。

#### [企画意図]

21世紀に入り、私たちは物質的には恵まれ、長寿社会になった一方、生活・健康に不安を感じ、心の安定、癒しをますます求めている時代を迎えている。「健やかに、生き生きと、いのちを大切に生きたい」と誰もが願い、そのように生活してきているはずなのに、事態は逆で、「生きる力」が弱まってきており、「人間力」が衰えできている。人間の「基礎力」が危ういのである。「生」への願いは時代や文化が違つても、基本的には変わらないはずである。

現代日本に生活する私たちは何を失ってしまったのか。今、何が求められているのか。本書は、今、私たち、一人ひとりの尊いのちをはぐくみ、だれもの生きる力をやしなう「からだの原点」の問題を問い合わせることを目的にしている。日常の生活にあって、元気にいきいきできる「からだの見方」「からだの育み方」を再考したい。

#### [まもなく全容を発表]

いま執筆者への依頼をふくめて最終的な調整を行っています。次号ではその全容を発表できます。ご期待ください。

### 年会費の振り込みを!!

2002年度の年会費「5000円」を下記の銀行口座へ振り込んでください。

みずほ銀行西荻窪支店・普通預金 2118044  
「大学体育養生学研究会・横沢喜久子」

### 新入会員募集!!

本会の活動はますます充実してきました。いま新入会員募集キャンペーンを行っています。

ようせい  
大学体育養生学研究会主催

第9回中国養生法海外研修会

開催要項

開催要項は下記のとおりです。

研修期間：2002年9月3日（火）～8日（日）

（5泊6日）

主 催：大学体育養生学研究会

共 催：全国大学体育連合（申請中）

旅行企画：オフィス華林

協 力：上海体育学院（大学）・上海中医薬大学・上海中医薬協会・気功研究所・復旦大学

研修会場：上海体育学院（大学）

宿 舎：上海体育学院（大学）交流センター

上海連絡先：上海体育学院（大学）交流センター

住所 上海市清源環路554

TEL 001-86-21-6556-7130

FAX 001-86-21-6556-8643

参加対象：原則として全国の大学・短期大学の教員を対象。関係者のご紹介の方ならばその他の分野の方々も歓迎します。

研究発表：日中双方の研究者による「養生（よせい）フォーラム」で研究発表・討論ができます。発表・討論希望者は事務局へお問い合わせください。

実技研修：気功・太極拳・新編五禽戯実習・伝統文化研究調査・その他

参加経費：上海研修 ¥165,000 （5泊6日）  
次の経費は原則として旅行代金に含まれていません。

- ① 旅券申請経費
- ② 超過手荷物料金
- ③ 個人的諸経費・サービス料
- ④ 日本国内交通費
- ⑤ 一人部屋使用の際の追徴金

参加取消料：旅行規約で決まっています。  
定 員：研修会の最少催行員「20名」

申込方法：参加費「165,000円」を、7月20日までに、下記の指定口座へ振り込み、その領収書のコピーと返信用葉書（本人宛：参加決定通知用・宛て先明記のこと）を申込書に添えて郵送してください。

申込期限：2002年7月20日までに下記の指定口座に振り込んでください。

「振込先」 みずほ銀行西荻窪支店  
普通預金 8022448  
大学体育養生学研究会  
中国研修 横沢喜久子  
「申込先」 〒167-8585  
東京都杉並区善福寺2-6-1  
東京女子大学文理学部健康  
・運動科学横沢研究室内  
中国養生法研修会運営実効  
委員会事務局  
FAX 03-3396-9996

「問い合わせ」  
久保隆彦：明治学院大学体育研究室  
FAX 0467-48-2736（自宅）

**〔企画基本方針〕**

今日の私たちの生活は人工的環境に包囲されてしまい、自然との関係において「生」を営む人間の本来の生活を忘れがちです。大学体育においても、この「からだの原点」を求めての伝統的中国養生法などの授業が大いに注目されつつあります。今回の研修会でも、これまであまり日本では目を向けられていなかった伝統的中国養生法をとりあげ、気功や太極拳の実習、中国の研究者との学術交流、伝統的文化調査を経験することによって、この領域への理解を深めていくプログラムを構成しています。みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

よせい  
大学体育養生学研究会事務局

東京女子大学文理学部・横沢研究室内

FAX 03-3396-9996

〒167-8585 東京都杉並区善福寺2-6-1